

産業厚生常任委員会会議録

(令和8年6月17日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会産業厚生常任委員会会議録

本日の会議 令和8年6月17日（水）
招集場所 城辺保健福祉センター創造交流室

出席委員

委員長	尾崎 恵一	副委員長	岡 雄次
委員	山本 美佐	委員	嘉喜 山茂
委員	原田 達也	委員	濱本 元通
委員	吉村 直城		

欠席委員

なし

出席委員外議員

議長 吉田 茂生

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	土居 章二	主幹	尾川 美保
--------	-------	----	-------

説明のため出席した者

（保健福祉課）

課長	中川 菊子	課長補佐	荒地 ミドリ
----	-------	------	--------

（御荘支所）

支所長	伊田 光洋	主事	柏原 開
-----	-------	----	------

（一本松支所）

支所長	松本 仁志
-----	-------

（西海支所）

支所長	吉田 直喜	主幹	小澤 豊
-----	-------	----	------

本日の委員会に付した案件

(1) 所管事務調査

□「愛南町の各保健福祉センターの機能・役割と運営上の課題について」

(2) その他

開 会 13時00分

閉 会 15時37分

○岡副委員長 それではただいまから産業厚生常任委員会を開催いたします。

まず最初に、委員長、挨拶をお願いします。

○尾崎委員長 皆さん、こんにちは。今日は産業厚生常任委員会の現地視察ということでお集まりいただきました。ありがとうございます。

先般、机上審査を行いました。城辺保健福祉センター、一本松保健センター、そして西海保健福祉センターの現状を、それぞれ担当部署のほうからお話しさせていただきました。その中で見えてきた課題等もありましたけれども、やはり実際に現場を見て、改めて感じることも多分にあります。

今日はその城辺保健福祉センター、一本松保健センター、それと西海保健福祉センターと合わせて、御荘老人福祉センターのほうも、これから順次視察をしてまいりたいと思います。また、そのときには、それぞれこの前のことも思い出していただきながら質問いただいて、最終的にこの場に、本日また改めて帰ってきて、今日、実際に視察をして、改めて気づいたことを、それぞれ意見交換してまいりたいと考えておりますので、どうぞ最後までよろしくお願いいたします。

○岡副委員長 はい、ありがとうございました。

○尾崎委員長 行程表でいくと、これから城辺保健福祉センターの視察になりますので、よろしくお願いします。

(現地調査)

○尾崎委員長 皆さん今日は現地視察ということで、大変お疲れさまでした。

先般の机上審査では、各保健センターの現状・課題についてそれぞれ説明を受けまして、本日は実際にその施設を視察いたしまして、利用状況とか施設の実態を確認することができたと思います。これからは御手元の次第に沿って進めてまいりたいと思いますが、特に、保健福祉センターとして本来求められている役割と現在の実態は合っているのか、あるいは地域の実情とか住民ニーズを踏まえたとき、今後も必要な機能はどのようなものがあるのか、このような視点の中で御発言いただければと思います。

また、本日この整理された課題については、今後の先進地視察の調査項目や視察先の選定、さらには委員会としての調査結果の取りまとめにつなげてまいりたいと考えております。

それと、冒頭申し上げておきますが、山本委員についてなんですけれども、この後、やむを得ぬ事情があります。会議途中になろうかと思っておりますけれども、時間になった折には、退席をさせていただきたいということで申出を受けておりますので、この点、御了承のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速、意見交換に入ってまいりたいと思います。まず最初に、施設の現状というところにスポットを当てたいんですけれども、各施設の利用状況とか運営の実態をそれぞれ視察いたしましたが、実際の、机上審査の中で説明を受けた説明と比較して、感じられた点ありましたら、何かお願いしたいと思います。

いかがでしょうか、実際の施設を見た結果。机上審査で受けた説明と、実際の施設の状況に違いを感じたような点はないでしょうか。

岡委員。

○岡副委員長 やっぱ、城辺・御荘地域の場合はやはり保健センターがすごく、いろんなものに活用されているかなというふうに思いますが、一本松・西海に関してはやっぱり一般の方の利用がなかなかないみたいで、その辺が少し問題、気になってくるのかなという気がいたしました。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

ほかに何かないでしょうか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 やはり、今言われたようにその、条例に定める業務目的が、ここ以外はちょっと、できていないということで、これが一番の課題かなと思います。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

ほかにないでしょうか。

原田委員。

○原田委員 私も、一本松と西海ですか、今日行って、見させていただいてやっぱり、保健福祉の役割というのはちょっと果たせないのかなと。

西海については社協がデイサービスですよ、あそこを利用して、活動されているということで、あれはあれでいいと思うんですが、そして西海はあとは、老人——高齢者の部屋が、入居の部屋が入居11あって、今は7つかな、空きよと。今度募集するということで、あれはあれでまた、それなりの役割を果たしているのかなというふうに感じました。

以上です。

○尾崎委員長 ありがとうございます。今、現状のほうを確認させていただいておりますが、併せて、見た中で、特に、本当に課題と思われるところですね、その辺りを含めて御意見を頂きたいと思います。

非常に、見た限りは施設のほうも老朽化しておりますし、利用状況の聞き取りをいたしました、なかなか少ないところもあると。それから、運営体制はどうなのかとか、施設機能ですね、こちらのほうも何か課題があるような気がいたしますが、いかがでしょうか。

岡委員。

○岡副委員長 最後に行った御荘老人福祉センターの入浴については、今現在、利用者が、登録が6名で、実際に使われている方が2名ということで、そういう・・・という説明を受けましたので、その件を少し考えるところがあるのかなという気がいたします。

○尾崎委員長 ありがとうございます。今、御荘のセンターの話にありましたが、ほかの城辺や一本松がありますが……

山本委員。

○山本委員 西海の福祉センターはすごく広いんですけど、もったいない使い方なのかなと思いますよね。それから器具のところ、完全に使われていないということで、何か、保健福祉センターとして使える予定もないということだったので、それは、今後、使い方をもうちょっと考えていかないといけないのかなと思いました。

○尾崎委員長 まあ広いスペースがありますので、今後の有効利用が課題かと……。

ほかにいかがでしょうか。

城辺と一本松、ありますけれども、・・・機能はいかがでしたか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 やはり浴室利用は、御荘も含めて、もう一度見直ししたほうがいいんじゃないかなと思う。利用者が偏っているし。特に御荘の場合は2人、実質2人、なので、そこら辺りはやっぱりもう、どっかの時点で、きちんと整理したほうがいいと思います。

以上です。

○尾崎委員長 浴室に関してはいろいろこうやっぱり、そういった問題があるということで、今後の検討では、本当に重要ではないかと思います。

ほかに何か課題に感じられたようなことはないでしょうか。

原田委員。

○原田委員 この城辺保健福祉センター、その、トレーニングの、健康器具ですかねあれ、私、前回の机上審査のときに、個室で設けたらどうかという提案はしたんですが、今日いろいろ説明を聞いてるとやはり、高齢者が使う割合が多いので、もし高齢者が器具を使っていて、倒れたとかですね、そういった場合に、個室だと、・・・かなということで、やはりいつもこう外か

ら見えるような状況でやってほしいということで、やっぱりこの状況は・・・かなと。まあパーティションみたいな仕切りはやっていましたけど、・・・いいのではないかというふうに感じた次第です。

○尾崎委員長 机上審査の中ではそう感じましたが、実際に現地を見た中で、そういう危惧、気になったということですよね。

ほかに何か課題に感じたことはないでしょうか。運営体制とかその辺で何か課題を感じたことはないでしょうか。職員の配置状況とか、いろいろありますけど。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 西海保健センターの、器具を置いておるほうは、ほとんど使っていない。社協の事務所を見ても、機能していないようなので、ふだん使わないのであれば、この部分だけは切り離して、デイに使うとか、その辺だけを使えば、もうちょっと効率的になるんじゃないかなと思いました。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

ほかにないでしょうか。今、西海保健福祉センターのスペースの問題が出ましたけれども、一本松保健センターに関してはいかがでしょうか。気になるようなところはなかったでしょうか。

岡委員。

○岡副委員長 一本松保健センターに関しては、以前よりすごく明るくなって、非常にこう、よく、よくどうか、いい雰囲気に住民の方も利用できるんじゃないかな。以前よりすごく、感じ的には、よくなってきたかなという気はいたします。まあ、週1回、療育の部分で、南愛媛療育センターが利用されているということで、やっぱり子供たちのために活用ができていないかなというふうに思います。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

ほかに課題として感じられたようなことはないでしょうか。

岡委員。

○岡副委員長 西海のトレーニング器具の、あれいつまで。もう処分……。もう老朽化して使えんていうものがいつまでもあそこに置いておくのがいいのかとか、そこはやっぱり、避難所として考えるのであればやっぱりあれでは、人が、仮に避難所となった場合に、人が集まる場所ですので、無駄なものはなくておったほうがいいかなというふうに思います。

○尾崎委員長 実際そうですね、さっき現地に行って、皆それぞれ、・・・もありましたし、提言の一つには、・・・かなと思います。

ほかにないでしょうか。

そしたら、現状と課題というふうに今、それぞれ意見を聞きましたけれども、それを踏まえ、今後それぞれ施設としてあるべき姿というのは、どのような形が望ましいのであるのか、その辺のところをちょっとお伺いしたいんですけれども。いかがでしょうか。

その各施設が、今後どのような役割を、地域の中で担って、また現在の機能・運営方法について、本当に見直しが必要と感じて、このようにすべきではないかと具体的なところを、ちょっと御提案がありましたら、伺いたいんですけれども。

岡委員。

○岡副委員長 やっぱり各地域の、こういう、目的としてやっぱり高齢者福祉であつたりとか障害者支援などを総合的に提供するっていう場所っていうのは、・・・としてはあるみたいなので、やっぱり地域のための、例えば保健師が行って、あそこの辺で、何か健康的な講演をするとか、健康に関する講習とかそういうのが、やっぱり地域が、もう少し地域、各地域で何かそういうふうな活動ができれば、また少し違う・・・というふうには思います。

○尾崎委員長 確かに地域に出向いてやるということが重要ではないかなと、感じたところは確か

に・・・ます。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 やはり保健活動に必要な部分は確かにあると思うんやけど、やっぱし一番気になるのは西海保健福祉センター。これが、ふだん、保健福祉活動にどう使われているのかがまだちょっと見えなかったの。で、支所を中心にしよんやったら、もうあそこ、やはり違う目的とかに使うことを検討しなければ、ちょっともったいないなと思います。

○尾崎委員長 ありがとうございます。確かに保健福祉センターとしての業務というか、そういうのはもう既になくなっていくという部分で、空きスペースもたくさんできておりましたけど、一方で、高齢者生活福祉センターとかデイサービスの機能がありましたので、今後は高齢者支援拠点としての機能を中心に考える必要があるのかなと、そこは間違いないかなと思います。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 あそこの施設、いっぱいになつとるけど、2つの条例に分かれているので、目的が。で、その、入居の部分についてはその目的を果たしているの、それはそれで、いいんじゃないかなと思います。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

ほかに何か、それぞれの施設の中で、今後、こうやってやるべきじゃないかというふうなところ、ないでしょうか。

原田委員。

○原田委員 やっぱり、今後はその、高齢者の健康維持と健康増進ですかね。元気で長生きをしないと、そういうことを目指してやっぱり、今日見た一本松でも、ヨガではないですけど、体操をやられていると。テレビを、そしてそれを見ながら体操している。やはり体を動かすことというのはやっぱりこれから、これ非常に大切なことだと思いますので、健康増進を目的として、今の施設をやっぱり有効に利用していくべきじゃないかなと思いますね。特に西海の、ああいうスペースはあるんですから、そういった運動ができるような、そういった体制を整えたらどうかと思います。

○尾崎委員長 健康寿命を確保できる施設づくりを。ありがとうございます。

山本委員。

○山本委員 御荘なんですけど、御荘がすごく楽しそうに今日使われて、ライオンズクラブの方が使ったりとか、シルバー人材センターが使っているという、利用が73.6%、稼働率があるって聞いたんですけど、断トツ、・・・の施設からすれば高いと思うんですけど、施設がやっぱりちょっと古くなっているの、使えるから直さないといけなし、今後も使う予定があるなら建物に関しても考えていかなければならないのかなと思いました。

○尾崎委員長 ありがとうございます。もう本当、老朽化が著しいので、今後どうするのか。本当に、それぞれ集約して、必要なところには投資をして建て替えるとか、必要でないところは整理するとか、その辺のことも・・・かなと思います。

ほかにないでしょうか。

吉村委員、いかがですか。

○吉村委員 ありません。

○尾崎委員長 濱本委員、いかがですか。

○濱本委員 みんなで、・・・それぞれ、階段ではないですけども少し歩いて行って、元気をもらえますから、そういうのがあると思うんですよ。・・・みんなで頑張れるというか、と思いますね。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

いかがですか、ほかにあったでしょうか。

いろんな意見を頂きましたが、施設の現状、施設の課題、今後の施設の在り方等、今、皆さ

んからいろいろ意見を聞かせていただきました。本日、現地視察、意見交換、やらせていただきましたが、これを通して各施設の現状や課題について、ある程度理解を深めることができたのではないかと思います。今後、施設の老朽化とか、利用の実態の変化とか、保健福祉センターとしての役割の変化など、今後さらに調査・研究を進めるべき課題も見えてきたのではないかと考えております。本日頂いた、皆さんから頂いた意見を整理いたしまして、今後の所管事務調査、それと、先進地視察のテーマ選定につなげてまいりたいと考えております。

次のこの流れですけれども、先進地視察を一つ考えておるんですけれども、これについて、御希望がありましたらここで聞きたいのですが、いかがでしょうか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 希望としては、愛南町と一本松とか、西海のように、合併によって本来の目的をちょっと遂行できなくなった施設について、利活用をしているところであれば特に、どこへ……。

○尾崎委員長 ありがとうございます。

ほかにないでしょうか。

ただいま意見がありましたが、愛南町のように施設が老朽化等、事業の撤退とかで、の中で、利活用をしっかりとって、健康福祉センターとして、地域に貢献できるようにしておるような自治体をテーマにして、先進地視察ということで選定をしていきたいと思うんですけれども、選定についてなんですけれども、まだ全く白紙であるんですが、委員長・副委員長と、それと事務局において、視察の候補地、それから受入れの可否について協議・調整を行って、候補がまとまりましたら改めて皆さんにお示しして、決めてまいりたいと考えておるんですけれども、よろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

○尾崎委員長 開催としては、できれば7月の終わりぐらいをめどに考えて……

(発言する者あり)

○尾崎委員長 7月の終わりぐらいの視察をめどに考えたいと思います。で、8月にまとめをして、9月の定例議会に報告できるような流れがでいいと考えておりますので、どうぞ委員の皆さん、今後とも御協力をお願いしたいと思います。

その他なんですけれども、何かないでしょうか。

(「ないです」と言う者あり)

○尾崎委員長 よろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○尾崎委員長 そしたら、本日の現地視察、それと意見交換会、これで終了いたします。

委員長